

## 寅さん歩 その26

### 東京の主要道路の起点～終点

#### 言問通りー1

平野 武宏



道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」と歩いてきました。

今回は「言問通り」を歩きます。言問通りは文京区本郷弥生交差点を起点に、台東区の隅田川にかかる言問橋に至る延長約4kmの道です。写真右上は言問通りの道路名標識（都道319号線）です。言問通りの名の由来は言問橋に通じる道で言問橋の名は左遷された在原業平が隅田川の鳥に都の恋人を偲んで詠んだ歌

「名にし負はば いざ言問はむ 都鳥 わが思ふ人は ありやなしやと」

に由来します。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時の写真もあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

**[本郷弥生交差点]** 文京区弥生一丁目

最寄駅 東京メトロ南北線 東大前駅

本郷弥生交差点（写真下左）が言問通りの起点で、本郷通りと交差します。言問通りの進行方向右側が東京大学本郷キャンパス、左側が東京大学農学部の弥生キャンパスです。両キャンパス構内は言問通りをまたぐ連絡橋（写真下右）でつながっています。

東大前駅は弥生キャンパスの東京大学農学部の最寄り駅で、有名な赤門がある本郷キャンパスは本郷三丁目駅が最寄り駅です。

本郷弥生交差点は寅さん歩 420 本郷通りー2 をご覧ください。



## [東京大学農学部] 文京区弥生一丁目

最寄り駅 東京メトロ南北線 東大前駅

東京大学農学部がある弥生キャンパスの土地は旧制第一高等学校があり、駒場の農学部の土地と交換、移転してきました。駒場に移った旧制第一高等学校の土地は現在、東京大学駒場キャンパスとなっています。写真下左は農学部正門、入るとすぐ左側に「上野博士と忠犬ハチ公の銅像」（写真下右）があります。忠犬ハチ公は10年間、渋谷駅で上野博士の帰りを待ち続けました。2015年忠犬ハチ公没後80年に上野博士が亡くなった弥生キャンパスで再会が出来ました。



## [弥生式土器発掘ゆかりの地] 文京区弥生二丁目

最寄り駅 東京メトロ南北線 東大前駅

右側に「弥生式土器発掘ゆかりの地の碑」（写真下左右）があります。

1884年（明治17年）東京大学関係者が根津の谷に面した貝塚から赤焼物の壺を発見、その後、縄文式土器とは異なると認められ、発見の地名をとり「弥生式土器」と名付けられました。1974年（昭和49年）には東京大学構内の旧浅野地区の発掘調査で同じ弥生式土器が見つかり、「弥生二丁目遺跡」として国の史跡に指定されました。



## [根津一丁目交差点]

文京区根津一丁目 最寄駅 東京メトロ千代田線 根津駅

根津一丁目交差点（写真下右）で不忍通り（都道437号線）と交差します。左へ行くと千駄木方面、右へ行くと上野方面です。



次の交差点から台東区に入ります。

## [玉林寺 横綱千代の富士像] 台東区谷中一丁目

最寄駅 東京メトロ千代田線 根津駅

谷中に入り寺院が多くなります。左側の「玉林寺」山門（写真下左）脇の「横綱 千代の富士像」の案内を見て、立ち寄りました。



玉林寺は1591年（天正19年）創建の曹洞宗の寺院です。国民栄誉賞の第58代横綱千代の富士のお墓があり、本堂右手前に「横綱千代の富士像」（写真下右）がありました。また本堂裏には創建以来存在すると言われる東京都指定天然記念物の「シイの木」の案内がありました。



### [谷中六丁目交差点] 台東区谷中六丁目 最寄駅 JR 上野駅

谷中六丁目交差点（写真下左）は左へ行くと谷中五丁目方面、右へ行くと東京藝術大学方面です。交差点角の「一乗寺」門前に（写真下右）は江戸時代中期の儒学者 太田錦城(1765～1825)の墓があるとの説明板がありました。



### [上野桜木交差点] 台東区上野桜木二丁目 最寄駅 JR 上野駅

上野桜木交差点（写真下左）は左へ行くと谷中霊園、右へ行くと東京藝術大学方面です。昔は桜が沢山あり、地名の「桜木」の由来とのこと。



交差点角には明治期の商家建築の「旧吉田屋酒店」（写真上右）があります。ここは台東区立下町風俗資料館付設展示場です。寅さん歩 301 東京の博物館めぐりー1 台東区ー1 をご覧ください。

## [寛永寺・浄名院] 台東区上野桜木二丁目

最寄駅 JR 鶯谷駅

上野桜木二丁目交差点手前の「浄名寺」を右折すると「寛永寺山門」（写真下左）と「寛永寺本堂根本中堂」（写真下右）があります。寛永寺の公式サイトによると「寛永寺は天台宗の別格大本山です。1625年（寛永2年）徳川幕府の安泰と万民の平安を祈願するため、江戸城の鬼門（東北）にあたる上野の台地に天海大僧正によって建立され、将軍家の菩提寺も兼ねるようになりました。幕末の上野戦争で焼失、敷地の大部分が上野公園となっています」と記載。現在の根本中堂は1879年（明治12年）寛永寺の支寺の川越喜多院の本堂を移築したものです。





言問通りに戻り、「浄名院」の掲示板（写真下左）を読んで進むと、左が「浄名院山門」（写真下右）です。浄名院は1636年（寛文6年）創建の天台宗の寺院で、寛永寺の塔頭です。ぜんそく治癒に功験がある「へちま地蔵」が有名です。また江戸六地蔵で廃仏になった六番目の代仏があります。



寅さん歩 37 健康ご利益めぐりー1 台東区ー1 及び寅さん歩 10 江戸六地蔵をご覧ください。

## 〔上野桜木二丁目交差点〕 台東区上野桜木二丁目

最寄駅 JR 鶯谷駅

上野桜木二丁目交差点（写真下左）を左折すると「谷中霊園」です。明治政府は1874年（明治7年）天王寺の寺域の一部を没収し、東京府管理の公共の「谷中墓地」を開設しました。1935年（昭和10年）谷中霊園の名称に変更しています。最後の将軍 徳川慶喜は将軍家菩提寺の墓に入らず、ここで（写真下右）眠っています。また、渋沢栄一他多くの著名人のお墓があります。



谷中霊園は桜の名所です。寅さん歩 46 東京の桜 2014—1 をご覧ください。

## [寛永寺陸橋] 台東区上野桜木一丁目 最寄駅 JR 鶯谷駅



JR各線が下を通過する「寛永寺陸橋」(写真左)です。当初は踏切で越えていましたが、1928年(昭和3年)8月跨線橋がかけられました。坂名の寛永寺坂をとって「寛永寺橋」と名付けられました。坂の上は寛永寺の境内でした。陸橋を下りてJR鶯谷駅前に向かいます。

今回はここまでとします。

## [バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。

全行程約600里(約2400km)の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022年4月26日、江戸深川(現在の江東区深川)を出発、2023年2月21日出雲崎(現在の新潟県出雲崎町)(江戸深川から1446km)に到着しました。八柳さんのコースシートには、次の「奥の細道」本文の評釈と俳句の注釈が掲載されています。

「荒海や 佐渡に横たふ 天の河」

(注釈:旅泊に見る黒々とした日本海の荒海。その荒波の隔てるかなたには、順徳院・日蓮・日野資朝・世阿弥などの幾多の哀史を秘め、今また悲しい流人の島として知られる佐渡が島が遠く横たわり、銀河が白くその上にかかっている。空の二星も交會を遂げるといふこの夜、島の人たちはこの荒海に隔てられた家郷の人々をどんなに恋い慕い

ながら、あの星の橋を仰いでいることだろうと思えば、ひとり北海のほとりをさすらう自分の心もしめつけられるような思いがする。そうした人間の思いを包んで、夜の海はあくまでも高く、天地の寂寥（せきりょう）のきわみを呈示している)

この後、直江津に向かいます。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝